

進捗状況報告シート

(2011年度・大学)

担当部局は ☆印の箇所を記入してください。

I. 評価項目・要素と担当部局

対象部局	総合政策学部
大項目	6 教育内容・方法・成果
中項目	6.1 教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針
小項目	6.1.1 教育目標に基づき学位授与方針を明示しているか。
要素	学士課程・修士課程・博士課程・専門職学位課程の教育目標の明示 教育目標と学位授与方針との整合性 修得すべき学習成果の明示
小項目	6.1.2 教育目標に基づき教育課程の編成・実施方針を明示しているか。
要素	教育目標・学位授与方針と整合性のある教育課程の編成・実施方針の明示 科目区分、必修・選択の別、単位数等の明示
小項目	6.1.3 教育目標、学位授与方針および教育課程の編成・実施方針が、大学構成員（教職員および学生等）に周知され、社会に公表されているか。
要素	周知方法と有効性 社会への公表方法
小項目	6.1.4 教育目標、学位授与方針および教育課程の編成・実施方針の適切性について定期的に検証を行っているか。
要素	

II. 自己点検・評価(2010.5.1～2011.4.30の進捗状況報告)

《目標・指標》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の評価を行っている。

進捗評価はA～Dの4段階とし自ら評価した。A～D評価は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. 「基礎演習」の効果的な運用を行うため、その担当者を対象とするFD研修会を実施する。	→「基礎演習」担当者全員を対象としたFD研修会の実施の有無。	C	A			
2. 初年次教育プログラムを2011年度に策定し、2012年度から実施する。	→初年次教育プログラムの策定の有無。	D	C			
3. 入学時の教務オリエンテーションに加えて、幾つかの基礎演習単位で学科選択に特化したガイダンスを実施する。	→学科選択に関する特別ガイダンスの実施の有無。	A	A			
			☆			
2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	2009	2010	2011	2012	2013
	→					
	→					

《現状の説明》 ※ 全小項目について記述が必要

小項目6.1.1	6.1.1 教育目標に基づき学位授与方針を明示しているか。
	(方針明示の有無) いずれかにチェックしてください。 →→→→→→→→→→ <input type="radio"/> 明示している <input checked="" type="radio"/> 明示していない
	(学位授与方針) 学位(総合政策)は共生の実現と社会の持続的発展に関わる政策の立案、実行に必要な基礎能力を有する者に授与する。基礎能力の具体的内容も策定。 (説明) 学位授与方針を学部内委員会ですでに審議し原案を策定したので、2011年度中に公開を行う。
小項目6.1.2	6.1.2 教育目標に基づき教育課程の編成・実施方針を明示しているか。
	(方針明示の有無) いずれかにチェックしてください。 →→→→→→→→→→ <input checked="" type="radio"/> 明示している <input type="radio"/> 明示していない
	(説明) スタディ・インフォメーション(授業科目履修心得)に明示している。さらにこれを教育内容・方法(カリキュラム・ポリシー)として原案を審議しているので、2011年度中に公開を行う。
★ 小項目6.1.3	6.1.3 教育目標、学位授与方針および教育課程の編成・実施方針が、大学構成員(教職員および学生等)に周知され、社会に公表されているか。
	(周知・公表の有無) いずれかにチェックしてください。 →→→→→→→→→→ <input checked="" type="radio"/> 周知・公表している <input type="radio"/> 周知・公表していない
	(説明) 教育目標、教育課程の編成・実施方針をスタディ・インフォメーションに記載して周知している。また、ホームページに教育目標を記載し、社会に公表している。
小項目6.1.4	6.1.4 教育目標、学位授与方針および教育課程の編成・実施方針の適切性について定期的に検証を行っているか。
	(検証の有無) いずれかにチェックしてください。 →→→→→→→→→→ <input checked="" type="radio"/> 検証している <input type="radio"/> 検証していない
	(説明) 学部内教育課程に特にかかわりの大きい統計データを専門委員会で組織的に収集、蓄積し、月一回開催の同委員会で分析の上、教授会で適宜報告を行い、教育課程、実施方針との整合性を審議している。
その他	

《評価指標データ》

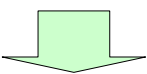
- カリキュラムの編成や体系等を常に検討する委員会の有無と開催頻度
- 必修・選択ごとの開設授業科目数
- 系列別卒業必要単位数

★ 追加データがあれば追加してください。

◎効果が上がっている事項 ※目標の進捗評価が「A」の場合は必ず記述してください。

《点検・評価(1)》効果が上がっている事項 注)出来るだけ内容を裏付ける客観的根拠を記述してください。

★ 小項目6.1.1	2010年度末に2011年度基礎演習担当教員全員に対するFDを実施し、基礎演習の位置づけ、共通とする教育内容、具体的な実施方法、時期の確認、共通教材の電子化と共有を行った。
	小項目6.1.2 教育課程と実施状況について審議する委員会等を月一回程度開催し、ディプロマ・ポリシーの原案は2010年度に作成し、2011年度中に教授会で審議の上、公開を行う。
	小項目6.1.3 教育課程、初年次基礎教育を審議する委員会を月一回程度、開催し、教育課程実施の現状と課題について定期的に審議を行っている。
小項目6.1.4	学生の入学時から卒業までの学年進行に沿った統計データを組織的に蓄積、分析を行い、委員会でデータの分析、検討を行う。その結果について教授会で適宜報告、審議している。
その他	



【次年度に向けた方策(1)】伸長させるための方策

注)出来るだけ手順や方法を明確にするなど行動計画を具体的に記述してください。

小項目6.1.1	基礎演習と並び学部の重要な基礎教育である、コンピュータ演習、英語教育のカリキュラムの教育順序の見直しと担当教員によるFDにより学部初年次教育全般の活性化を促進を図る
小項目6.1.2	ディプロマポリシーを2011年度中に公開し、ホームページやスタディインフォメーション等学部広報で広く公開する
★ 小項目6.1.3	広報委員会において学部ホームページや広報媒体の閲覧データ、配布部数について検討し、広報媒体や手法を検討する
小項目6.1.4	入学時の教務オリエンテーションに加えて、基礎演習ごとに学科選択に特化したガイダンスを実施した。また属人的に収集、蓄積されてきた各種統計データの整理、電子化、共有化を進め、より組織的、継続的な運用体制を整備する
その他	

◎改善すべき事項 ※目標の進捗評価が「D」の場合は必ず記述してください。

【点検・評価 (2)】改善すべき事項		注)出来るだけ内容を裏付ける客観的根拠を記述してください。
小項目6.1.1		
小項目6.1.2		
★小項目6.1.3		
小項目6.1.4		
その他	カリキュラムポリシーに基づく履修モデルの整備と初年次教育プログラムの方針、基礎演習、コンピュータ演習、英語教育の教育順序の見直しによる教育活性化の促進。	

↓

《次年度に向けた方策(2)》改善方策		注)出来るだけ手順や方法を明確にするなど行動計画を具体的に記述してください。
小項目6.1.1		
小項目6.1.2		
★小項目6.1.3		
小項目6.1.4		
その他	履修モデル作成と初年次教育の中心である基礎演習、コンピュータ演習、英語コミュニケーションの教育順序の見直しのためのFDの実施と初年次教育プログラムの策定プロセスの具体化。	

◎自由記述

【点検・評価】&【次年度に向けた方策】	
★その他 (自由記述)	ディプロマポリシー、教育内容・方法(カリキュラム・ポリシー)の公開とこれらに基づく初年次教育の科目間連携の促進とその評価のための統計データの効率的な収集分析体制の構築

Ⅲ. 学内第三者評価

<評価専門委員会の評価>

【学外委員】

- 自由記述欄に書かれた課題の実現が望まれます。
- 「目標」1,2は、具体的なカリキュラムの問題なので、次項の中項目6.2に配置したほうが適切ではないでしょうか。

【学内委員】

- 基礎教育の効果的な運用が図られていることは評価できます。ただ、各種の方策がどのくらい有用であるかということについての検証が行われなければならないでしょう。このことにより、よりよい成果の上昇が期待されます。
- 基礎演習を学部に合わせてものにするために担当者のFD委員会をされたことを評価します。今後も続けることが期待されます。
- 2011年度中に学位授与方針ならびに教育課程の編成・実施方針が明示されることに期待します。
- 効果が上がっている事項の記述内容は、小項目の内容と合っていません。次年度以降整理してください。また、FDや個別の教育課程や内容については、6.2での記述が適切です。従って、設定されている目標も6.2が適切だと思います。この項目は、いわゆるディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシーについて聞いています。

【大学基準協会：評価に際し留意すべき事項】

- 小項目6.1.1
基盤評価：「課程修了にあたって修得しておくべき学習成果、その達成のための諸要件（卒業要件・修了要件）等を明確にした学位授与方針を、理念・目的を踏まえ、設定していること」
達成度評価：なし
- 小項目6.1.2
基盤評価：「学生に期待する学習成果の達成を可能とするために、教育内容、教育方法などに関する基本的な考え方をまとめた教育課程の編成・実施方針を設定していること」
達成度評価：なし
- 小項目6.1.3
基盤評価：「公的な刊行物、ホームページ等によって、教職員・学生ならびに受験生を含む社会一般に対して、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針を周知・公表していること」
達成度評価：なし
- 小項目6.1.4
基盤評価：なし
達成度評価：「検証を実施する体制を整備し、責任を明確にするなどしたうえで、教育目標、学位授与方針および教育課程の編成・実施方針の適切性について、恒常的かつ適切に検証を行っている」

Ⅳ. 学内第三者評価の評価結果を受けての追加記述

★目標1,2については、来年度以降、6.2の適切な欄に移します。また基礎教育でのPDCAの評価として学部として行っている措置に関する記述を追加します。